

# 基本財務諸表プロジェクト 公開草案 全般的な表示及び開示

2020年7月  
分解

The views expressed in this presentation are those of the presenter, not necessarily those of the International Accounting Standards Board or the IFRS Foundation.

## 整理事項

公開草案、それに付随する文書及びこのプレゼンテーションで使用するスライドは、基本財務諸表プロジェクトのウェブページ [www.ifrs.org/projects/work-plan/primary-financial-statements](http://www.ifrs.org/projects/work-plan/primary-financial-statements) からダウンロードできます。

本ウェブセミナーで示された見解は発表者自身の見解であり、必ずしも国際会計基準審議会（IASB）またはIFRS財団の見解ではありません。

質問する場合は、画面の指定されたテキストボックスに質問を入力し、「送信」ボタンをクリックしてください。プレゼンテーション中はいつでも質問を送信できます。プレゼンテーションの最後に、我々から回答させていただきます。

# 基本財務諸表プロジェクト



## 目的

損益計算書に含まれる情報に重点を置いて、財務諸表における情報の伝達方法を改善する。

2015

アジェンダ・コンサル  
テーションで当プロジ  
ェクトを優先事項とし  
て認識

2016-2019

公開草案を開発  
するためのIASB  
審議

Q4 2019

公開草案を公表  
し意見募集

Q1-Q3 2020

意見募集期間  
(9月30日まで\*)

Q4 2020

IASBにおける  
再審議

\* コロナウィルスのパンデミックにより、コメント期間が2020年6月から延長されている

# 投資家のニーズへのプロジェクト対応

## 投資家からの意見

## IASBからの主な提案



損益計算書の小計は、異なる会社間で比較可能なものでなければならない。

- 1 損益計算書で定義された追加の小計を表示するよう会社に要求する。



会社は、より詳細な情報、投資家の分析のためにより良いインプットを提供できるように、グループ化された情報を提供すべきである。

- 2 情報を分解するための要件を強化する。



経営者が定義する業績指標は有用な情報を提供できるが、より透明性と規律性を伴う方法で使用されなければならない。

- 3 経営者業績指標に関する情報を注記に開示するよう会社に要求する

\*公開草案には、キャッシュフロー計算書への的を絞った改善等、他の提案も含まれている。

①

一般的要求事項  
と要求される  
科目名

基本財務諸表と注記の役割

集約及び分解の原則

のれんを含む要求される  
科目名

重要性のない異質な項目を  
グループ化し、「その他」  
のラベル付けを回避する

特定の要求事項

② 性質別及び機能別の  
営業費用の分析

③ 通例でない収益及び  
費用の開示

# ① 一般的な要求事項と 要求される科目名

## 基本財務諸表と注記の役割

- **基本財務諸表の役割**は、報告企業の認識した資産、負債、持分、収益、費用及びキャッシュ・フローについて、構造化された比較可能な要約を提供することである。
- **注記の役割**は、以下のことである：
  - 財務諸表利用者が基本財務諸表に含まれている項目を理解するために必要な追加の情報を提供する。
  - 財務諸表の目的を満たすために必要な他の情報で基本財務諸表を補足する。

## 要求される科目名

- 以下を含む新たな科目名が要求されている：
- 不可分の及び不可分でない関連会社及び共同支配企業に関する個別の科目名（損益計算書、キャッシュ・フロー計算書及び財政状態計算書）
  - 財務活動から生じる収益及び費用
  - のれん（財政状態計算書）

## 集約及び分解の原則

1. 個々の取引又はその他の事象から生じる資産、負債、持分、収益及び費用を特定する。
2. 共有している特徴に基づいて項目をグループに分類する。その結果、基本財務諸表の科目は少なくとも一つの特徴を共有する。
3. 更なる特徴に基づいてそれらの科目を区分する。その結果、注記において重要な項目を個別に開示する。

## 重要性のない異質な項目のグループ化

- 会社は、重要性のない項目のグループに**意味のあるラベル**を使用し、「その他の費用」などの科目名を避けなければならない。
- それが不可能な場合は、会社はそのような項目のグループの**内容**に関する情報を、**注記**において提供しなければならない。

## ② 営業費用の分析

# 営業費用—性質別の例



収益	347,000
その他の収益	3,800
製品及び仕掛品の在庫の増減	3,000
使用した原材料	(146,000)
従業員給付	(107,000)
減価償却	(37,000)
償却	(12,500)
業務委託費及びその他の費用	(10,030)
<b>営業利益</b>	<b>41,270</b>
不可分の関連会社及び共同支配企業の純損益に対する持分相当額	(600)
営業利益並びに不可分の関連会社及び共同支配企業から生じる収益及び費用	40,670
不可分でない関連会社及び共同支配企業の純損益に対する持分相当額	3,380
配当収益	3,550
財務及び法人所得税前利益	47,600
財務活動から生じる費用	(3,800)
年金債務及び引当金に係る割引の巻戻し	(3,000)
税引前利益	40,800
法人所得税	(7,200)
当期純利益	33,600

営業

不可分の関連会社  
及び共同支配企業

投資

財務

## 損益計算書

最も有用な情報を提供する営業費用の分析方法（性質別又は機能別）を使用する

- **自由選択ではない**—IASBは、会社が分析方法を選択するのを助ける一連の指標を提供することを提案している
- 会社は、2つの方法を**組み合わせ**て使用すべきではない
- **注記のみ**において費用分析を表示する**選択肢を削除**している

## 注記

損益計算書上、機能別分析で表示されている場合には、**性質別分析**を注記に開示する

- **営業費用合計の分析**—機能別の科目ごとの分析は要求されない

# 現行の実務—性質別と機能別の組み合わせ

収益	86,750
売上原価	(55,775)
売上総利益	30,975
一般管理費	(9,472)
研究開発費	(5,385)
減価償却	(6,750)
その他の収益	1,645
営業利益	11,013
財務費用	(813)
税引前利益	10,200
法人所得税	(1,800)
当期純利益	8,400



売上原価または  
減価償却に  
含まれる  
情報が不完全

# 注記における性質別分析の例

## 損益計算書（機能別）

収益	500
売上原価	(300)
<b>売上総利益</b>	<b>200</b>
販売費	(40)
研究開発費	(20)
一般管理費	(50)
営業債権に係る減損損失	(30)
<b>営業利益</b>	<b>60</b>

## 注記（性質別）

製品および仕掛品の在庫の増減	30
使用した原材料	(160)
従業員給付	(140)
減価償却	(40)
有形固定資産の減損	(10)
営業債権に係る減損損失	(30)
不動産税	(40)
訴訟費用	(20)
デリバティブに係る損失	(30)
<b>営業費用合計</b>	<b>(440)</b>

## ③ 通例でない収益及び費用

## 定義



### 予測価値が限定的な収益及び費用

種類及び金額が類似している収益又は費用が将来の数事業年度について生じないであろうと予想することが合理的である場合には、その収益又は費用は、予測価値が限定的である。

現在の価値で測定する項目の経常的な再測定から生じる収益及び費用は、原則として、通例でない収益及び費用には分類されない。

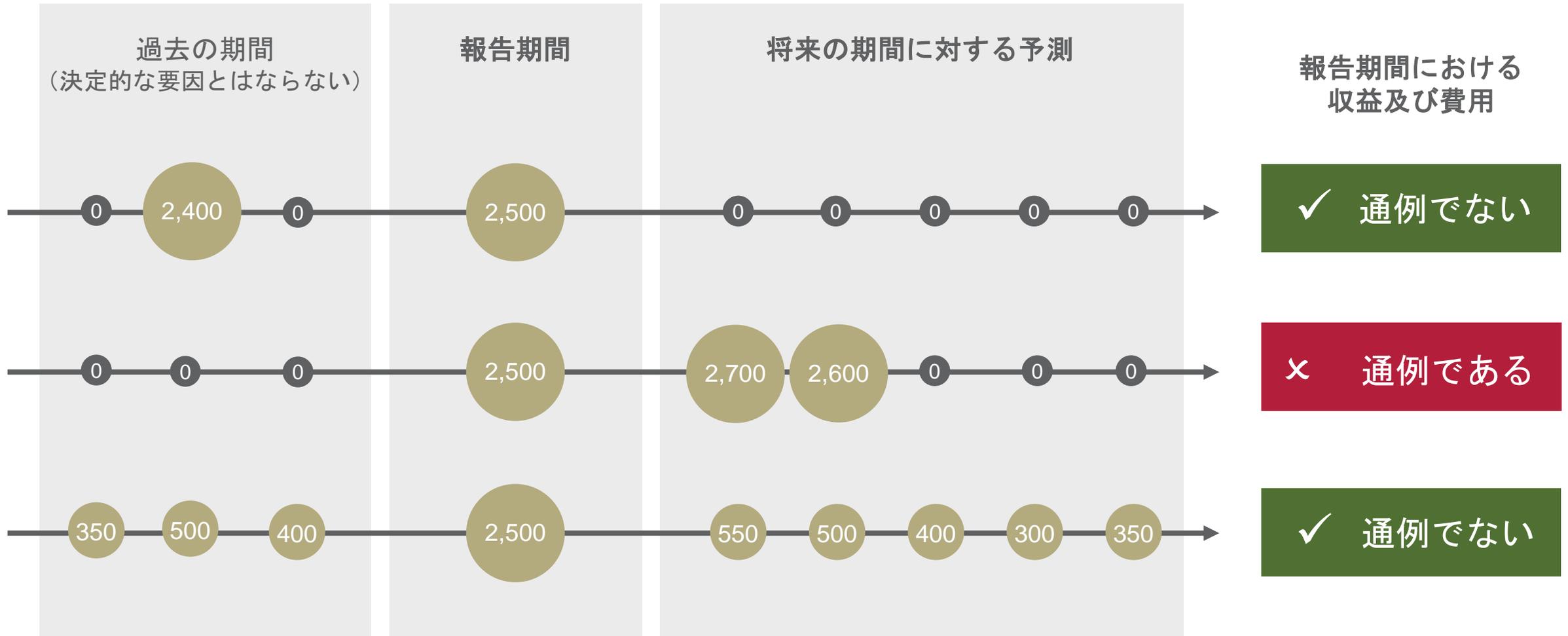
## 開示

### 金額と 説明的記述

以下によって分解された金額：

- 損益計算書に表示された科目名
- 企業が機能別の費用分析を損益計算書に表示している場合、注記において開示している性質別の営業費用分析の科目名

# 「通例でない」の定義の適用一例

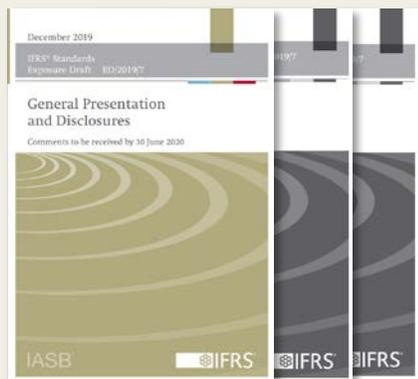


# 例—通例でない収益及び費用の開示

通例でない収益及び費用を含む、 機能別損益計算書の科目名	通例でない収益及び費用の種類		
	不動産税	リストラクチャリング費用	通例でない 項目合計
売上原価		(4,990)	(4,990)
一般管理費	(2,500)	(410)	(2,910)
財務活動から生じる費用		(600)	(600)

性質別営業費用	通例でない収益及び費用の種類		
	不動産税	リストラクチャリング費用	通例でない 項目合計
従業員給付		(2,050)	(2,050)
固定資産の減損		(3,350)	(3,350)
不動産税	(2,500)		(2,500)

questions  
expressions of individual views  
comments  
questions or comments  
expressions of individual views  
feedback  
questions  
feedback  
questions  
and viewpoints  
and comments



- [公開草案](#)（日本語訳）
- [結論の根拠](#)（日本語訳）
- [設例 及び提案内容とIAS第1号の要求事項との比較](#)（日本語訳）



## [スナップショット](#) [（英語）](#)



[公開草案の概要説明](#)  
[日本語ウェブセミナーの録音](#)\* ([YouTubeチャンネル](#)日本語以外の言語も視聴可能)



[ビデオ](#)によるハンス議長  
の提案解説（英語）

\* 英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語が視聴可能です。

# Get involved

Find out more: [www.ifrs.org](http://www.ifrs.org)

Follow us:  @IFRSFoundation

 IFRS Foundation  
International Accounting Standards Board

 IFRS Foundation

 IFRS Foundation

Join our team: [go.ifrs.org/careers](http://go.ifrs.org/careers)